

2010年5月期(第12期)
第1四半期決算補足資料
2009年10月9日(金)

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。
尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

アウンコンサルティング株式会社

- 【1】 2010年5月期 第1四半期決算概要
- 【2】 2010年5月期 第1四半期セグメント別実績
- 【3】 2010年5月期 業績予想と事業の取り組み
(巻末資料)

【1】 2010年5月期 第1四半期決算概要

主要クライアントの受注減少により

売上高 634百万円(対前年増減率 49.7%)

ローコストオペレーションを図るものの売上減少分を補えず

営業利益 69百万円(前年同期営業利益94百万円)

本社移転に伴い特別利益、特別損失を計上

特別利益 82百万円 / 特別損失 19百万円

	実績		前年同期比	
	10/5期-1Q (連結累計)	09/5期-1Q (連結累計)	増減額	増減率
売上高	634	1,262	627	49.7%
売上総利益	132	295	163	55.1%
売上総利益率(%)	20.9%	23.4%		
販管費	201	201	± 0	0.2%
販管费率(%)	31.8%	15.9%		
EBITDA	51	147		
営業利益	69	94		
営業利益率(%)		7.5%		
経常利益	70	99		
経常利益率(%)		7.9%		
当期純利益又は 当期純損失	18	62		
純利益率(%)		4.9%		
EPS(円)	254.26	867.86		

(金額単位:百万円 / %)

Point

売上総利益

- ・ 売上高の減少 627
- ・ 仕入の減少 +448
- ・ 製造原価の減少 +15

特別利益

- ・ 移転補償金 +82

特別損失

- ・ 事務所移転費用および
固定資産除却損 19

	実績		前年同期比	
	10/5期 - 1Q (連結累計)	09/5期 - 1Q (連結累計)	増減額	増減率
流動資産	1,342	1,690	347	20.6%
現預金	800	876	75	8.7%
固定資産	417	979	562	57.4%
有形固定資産	34	20	+ 13	64.2%
無形固定資産	197	909	711	78.3%
投資その他の資産	185	50	+ 135	270.6%
総資産	1,760	2,670	910	34.1%
流動負債	358	672	313	46.7%
固定負債	41	59	17	29.5%
負債合計	400	731	331	45.3%
純資産	1,359	1,938	578	29.9%

(金額単位:百万円 / %)

Point

流動資産

- ・ 現預金の減少 75
- ・ 売掛債権の減少 434

固定資産

- ・ のれんの減少 653

流動負債

- ・ 仕入債務の減少 200

	実績		前年同期比
	10/5期 - 1Q (連結累計)	09/5期 - 1Q (連結累計)	増減額
営業活動によるCF	2	144	147
投資活動によるCF	98	58	40
財務活動によるCF	64	47	16
現金及び現金同等物の増減額	165	37	203
現金及び現金同等物の期首残高	947	814	+ 132
現金及び現金同等物の期末残高	782	852	70

(金額単位: 百万円)

Point

営業活動によるCF 147

現金及び現金同等物の期末
残高 70

第1四半期売上高

前年同期比 49.7%減

第11期(2009年5月期)

第1四半期売上高

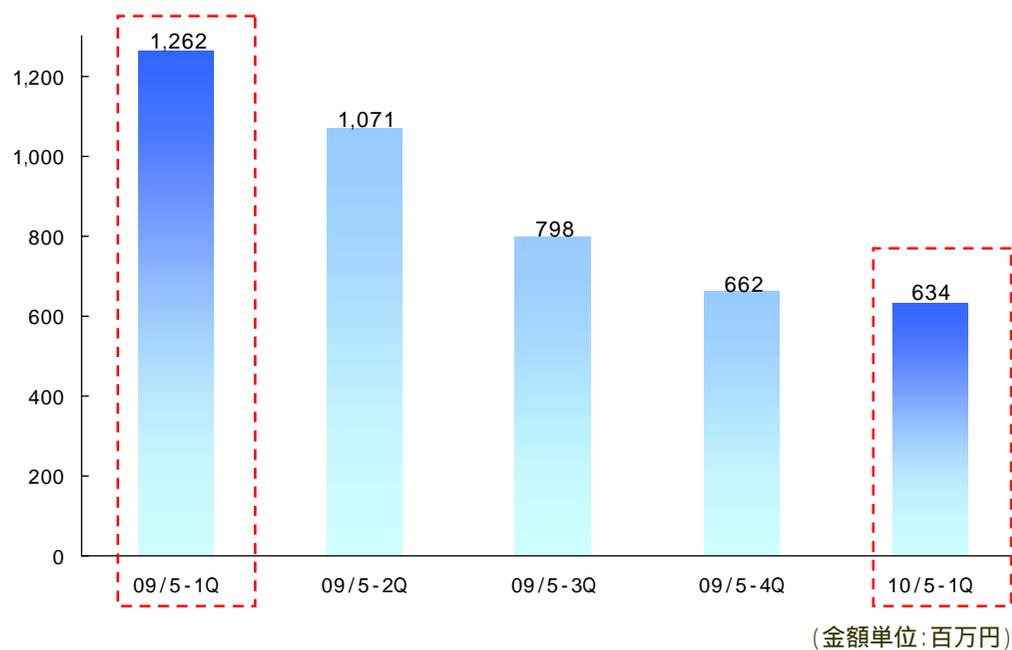
1,262百万円



第12期(2010年5月期)

第1四半期売上高

634百万円



Point

事業ポートフォリオの転換や
新商品の開発を推し進めた
ものの主要クライアントの
受注量の減少を補うことは
できませんでした。

第1四半期営業利益

前年同期比 -

第11期(2009年5月期)

第1四半期営業利益

94百万円

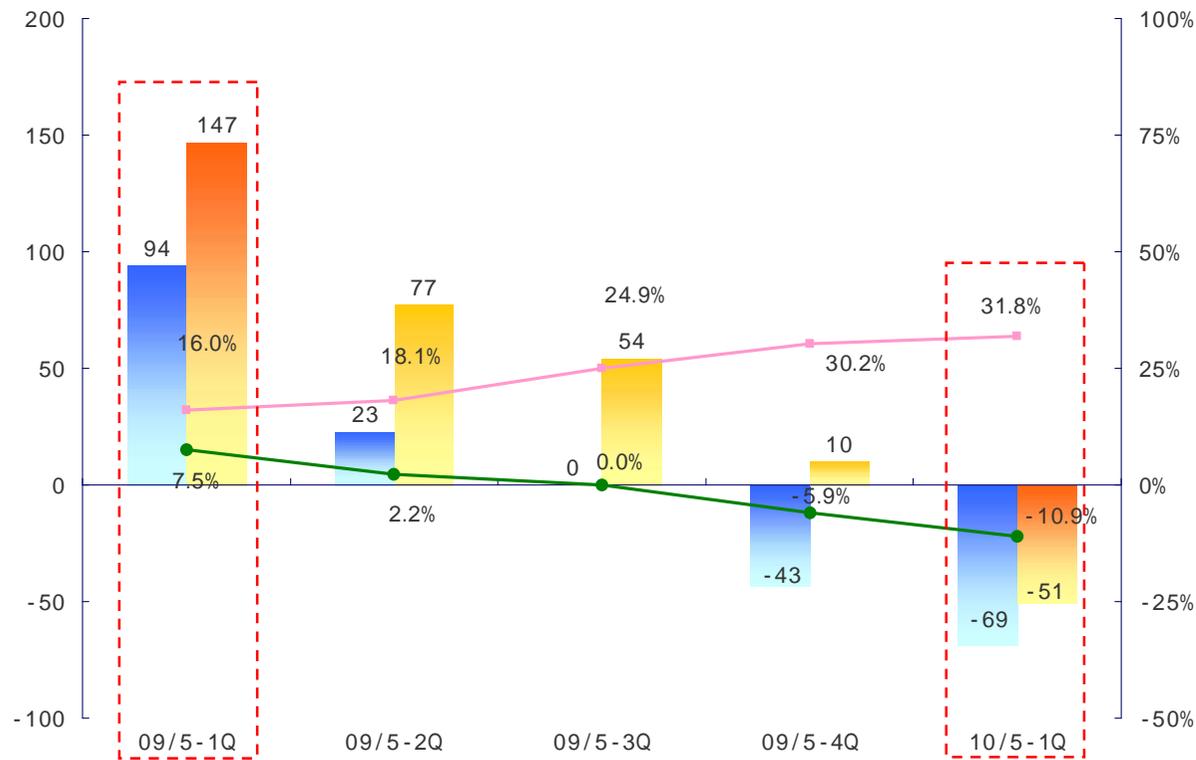


第12期(2010年5月期)

第1四半期営業利益

69百万円

■ 営業利益 ■ EBITDA ● 営業利益率 ■ 販管費率

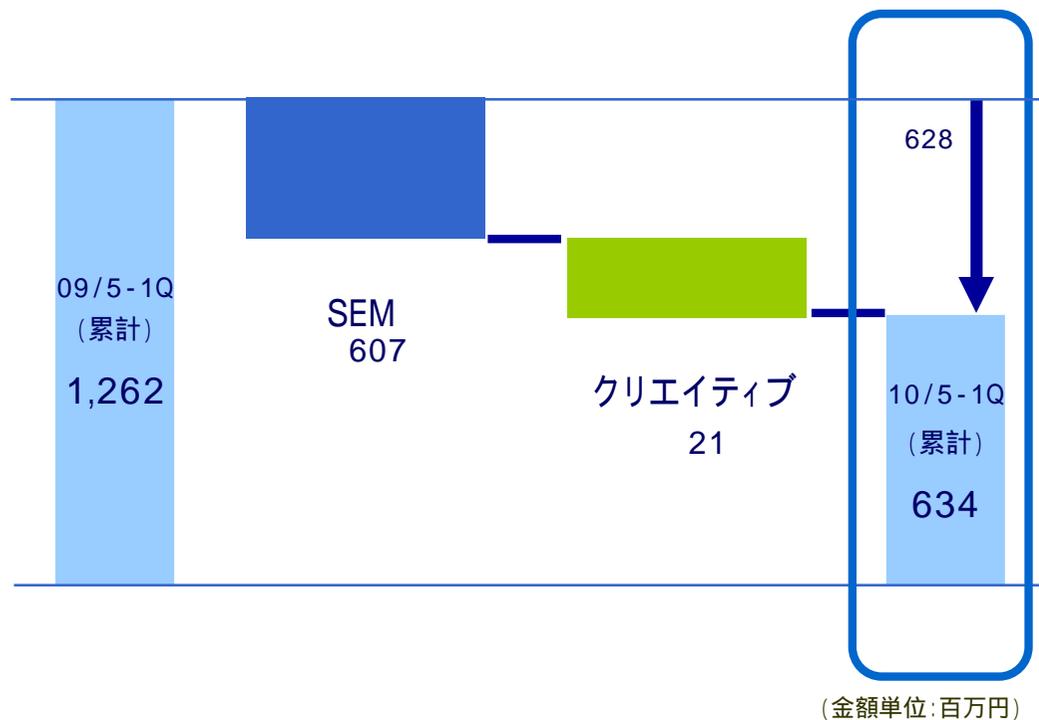


(金額単位:百万円)

Point

売上高減少および販管費増加により、営業利益が減少いたしました。

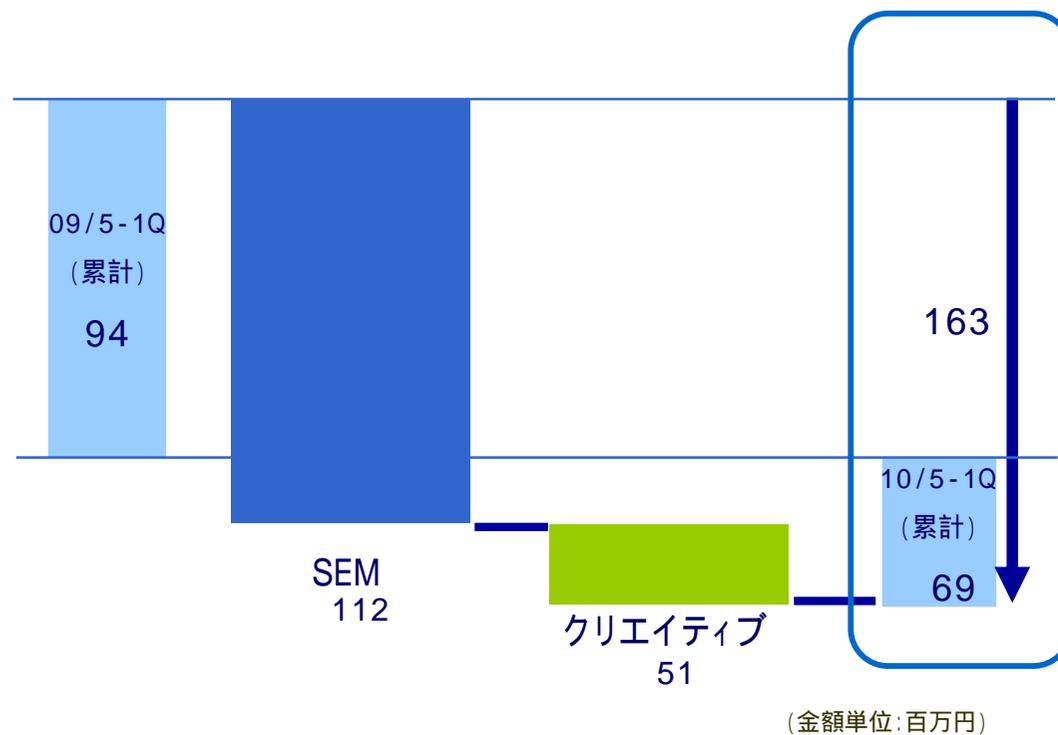
売上高要因別増減分析(1Q累計)



Point

SEM事業 607
主要クライアントの受注量
減少分を補えず売上減少
となりました。
クリエイティブ事業 21

営業利益要因別増減分析(1Q累計)

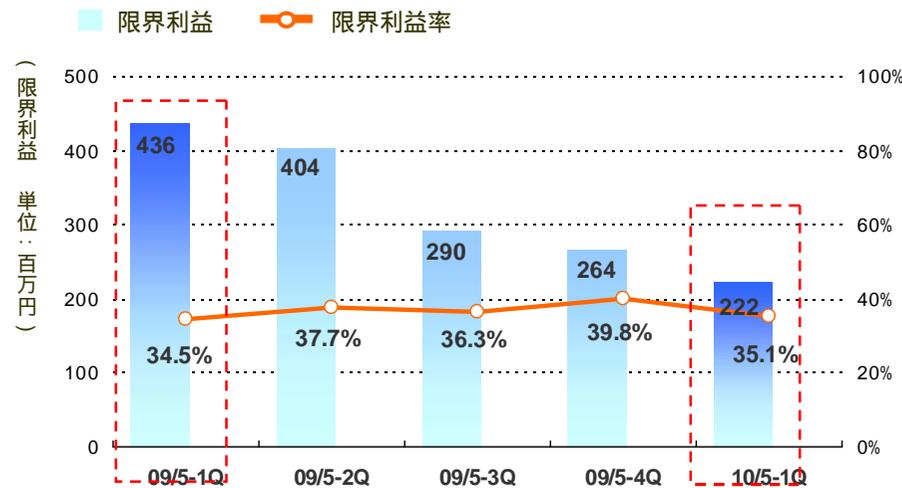


Point

SEM事業 112
主要クライアントの受注減により減少いたしました。

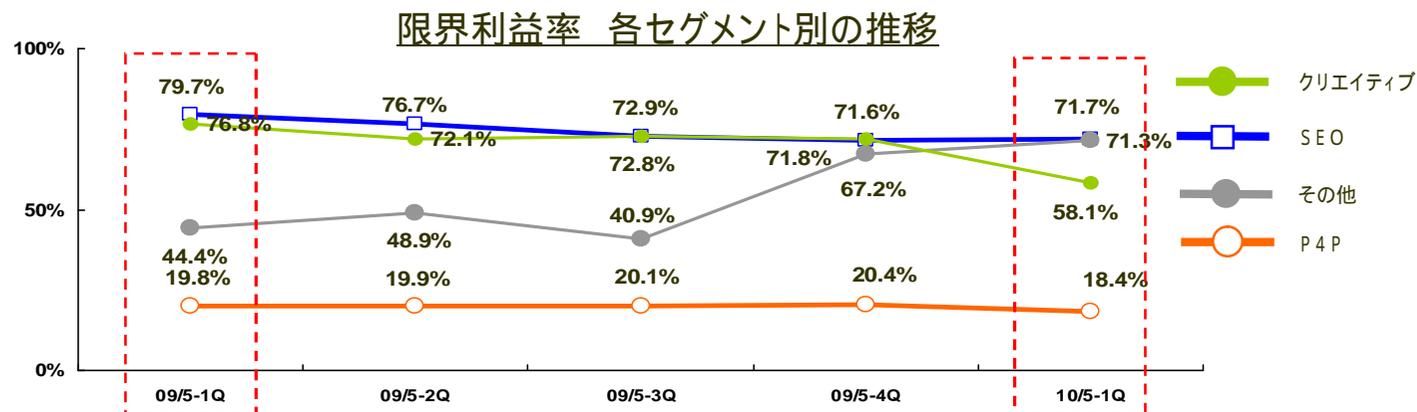
クリエイティブ事業 51
市況の影響により、
広告宣伝費の抑制する傾向を受け受注量が減少いたしました。

限界利益 / 限界利益率の推移



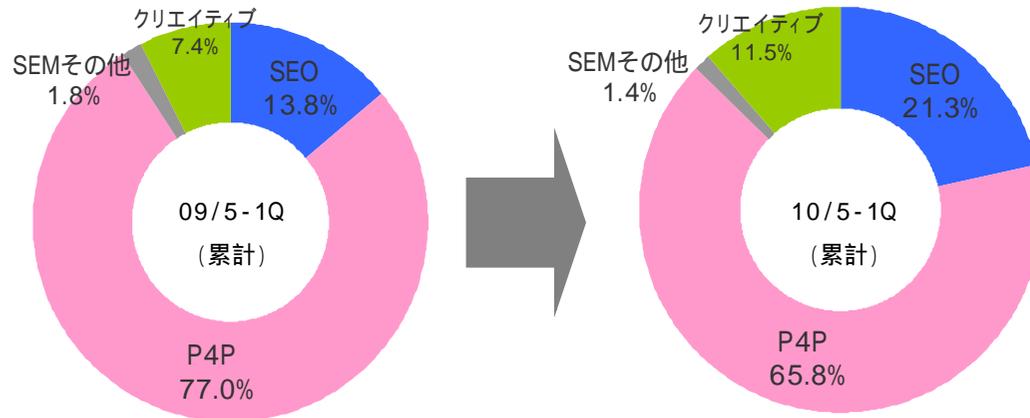
Point

限界利益率は前年同期において同等に推移しました。

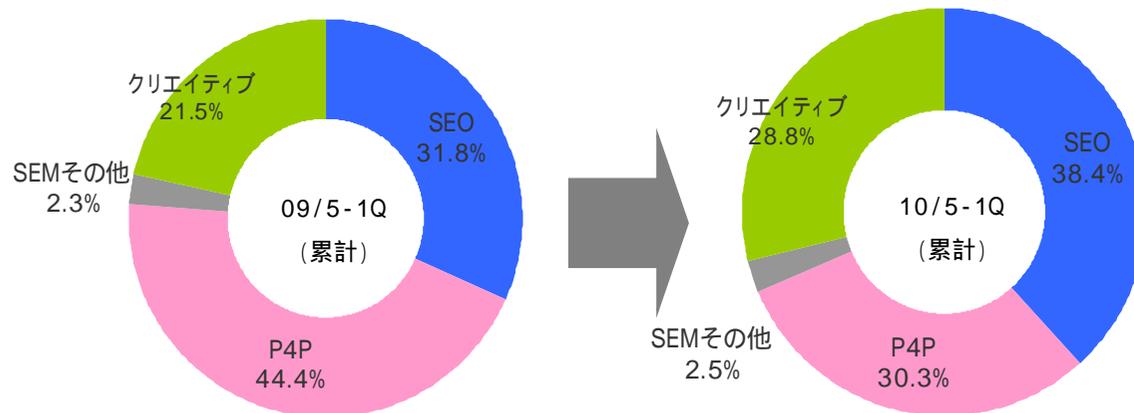


限界利益 = 売上高 - 変動費

売上構成比 比較



粗利構成比 比較

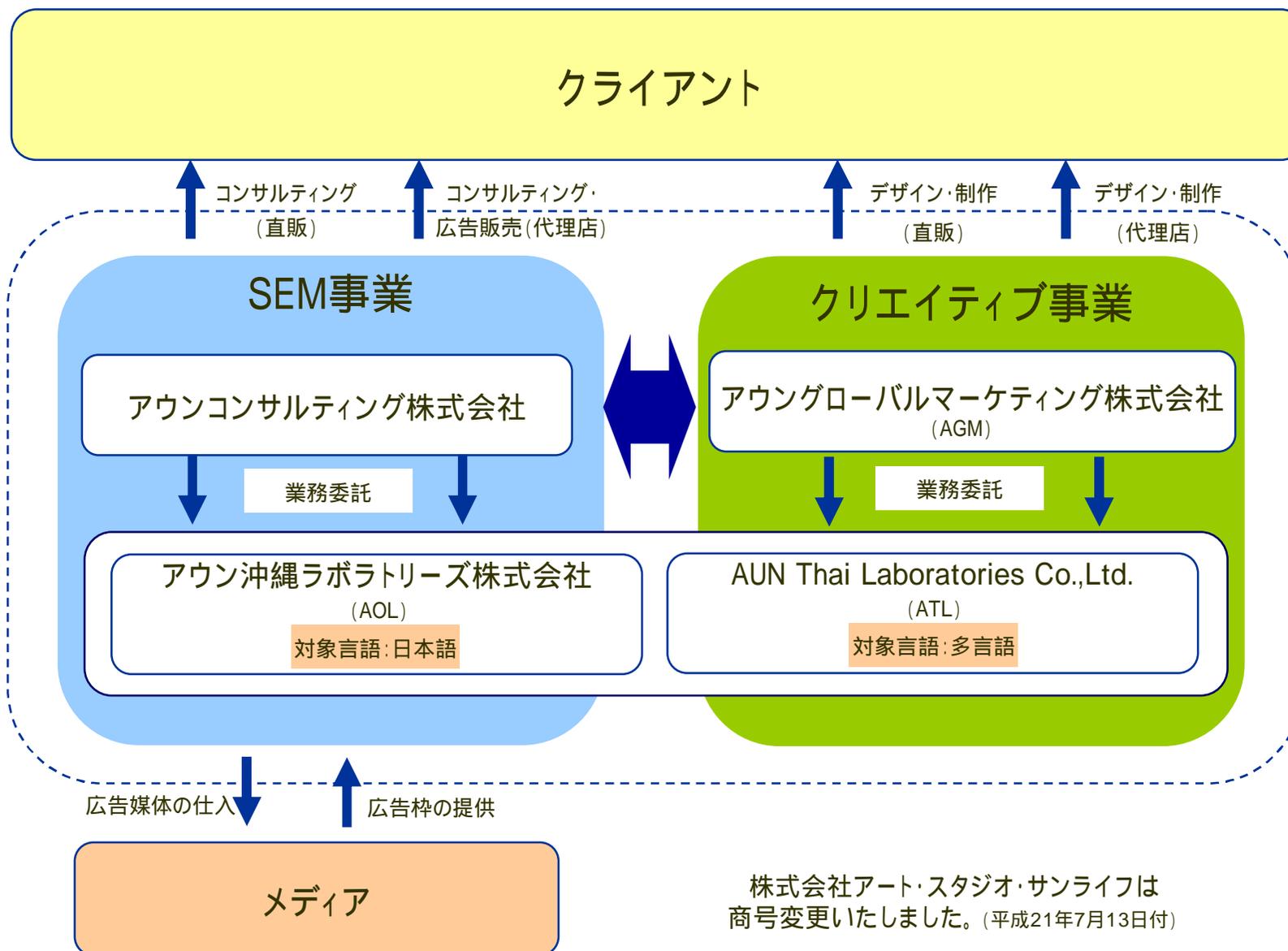


粗利は管理会計ベースの数値(売上-仕入)

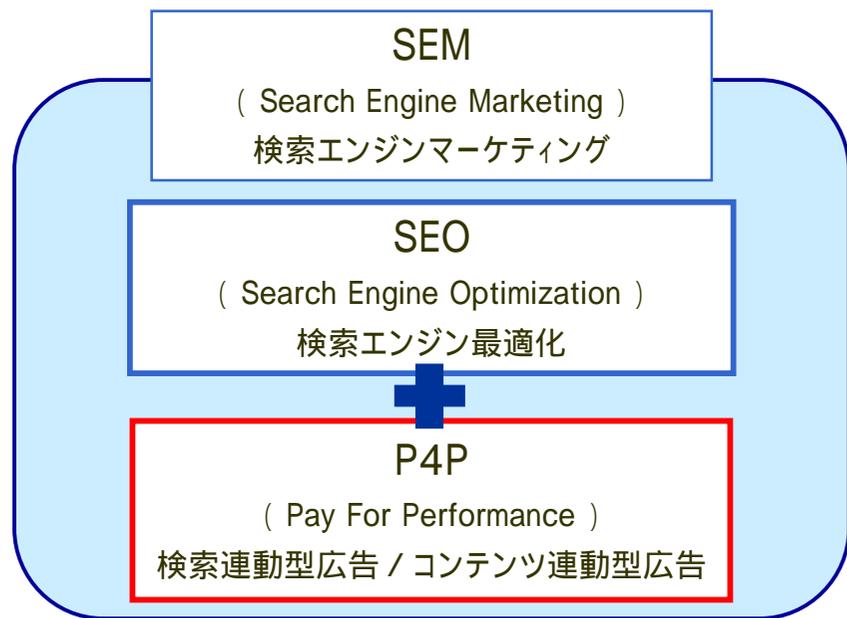
Point

利益率の高いSEOの売上構成比が向上
事業ポートフォリオの転換により粗利構成の偏りが軽減されました。

【2】 2010年5月期 第1四半期セグメント別実績



株式会社アート・スタジオ・サンライフは
商号変更いたしました。(平成21年7月13日付)



Yahoo! JAPANの検索結果ページの場合

Point

SEMコンサルティングファーム

としての独自の強み

マーケティング戦略全般を視野に入れたソリューション

専任アナリストによる徹底した先端情報の収集

アルゴリズムの分析力と提案力 (SEO)

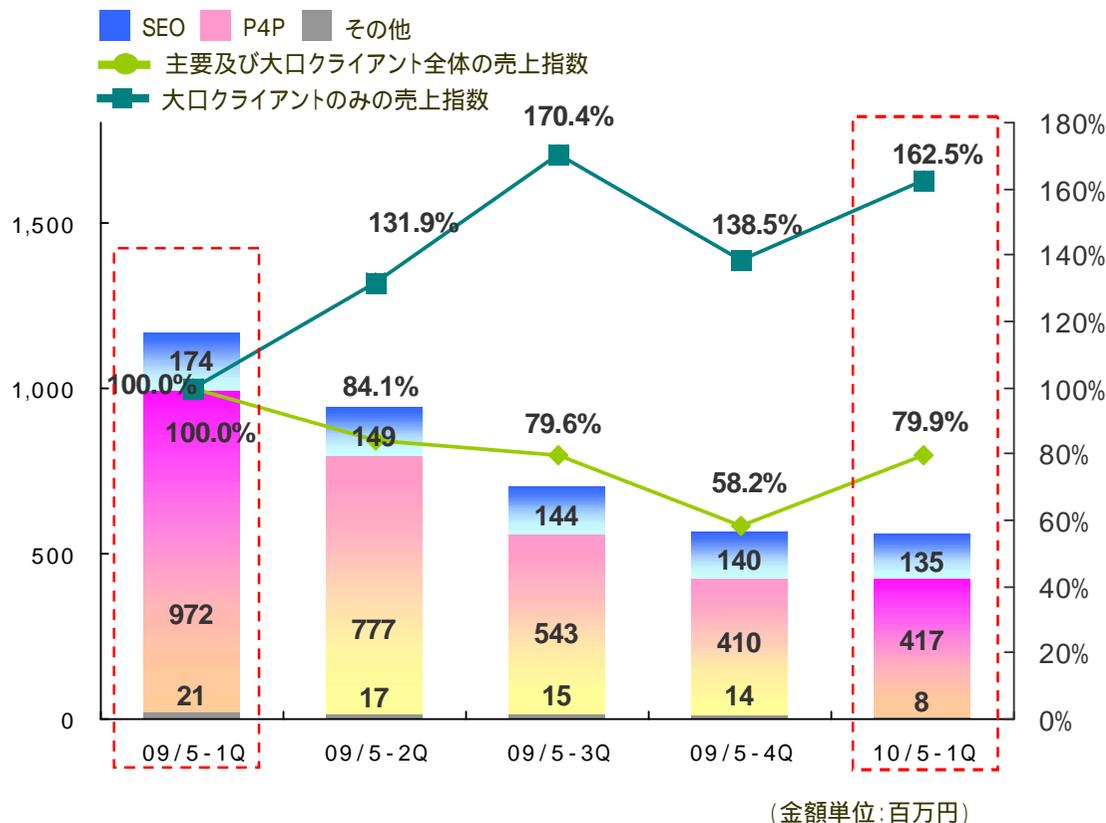
高い実績を誇る運用コンサルティング (P4P)

SEOとP4Pの専門ならではのSEM最適化提案
コンサルティングモデルによる高利益体質の確保

チケットサービスモデルによるインハウスニーズへの対応

英語・中国語の多言語領域にサービスを拡大

売上高推移



Point

大口クライアントのみの売上指数は大幅に増加いたしました。主要及び大口クライアント(単価5百万円以上)全体の売上指数は前Q比較で回復はしたものの前年同期比では減少となりました。

売上高指数について

09/5-1Qを100とし、顧客単価5百万円以上の売上高合計を指数化。

主要クライアント:売上高 上位2社

大口クライアント:売上高 月額5百万円以上

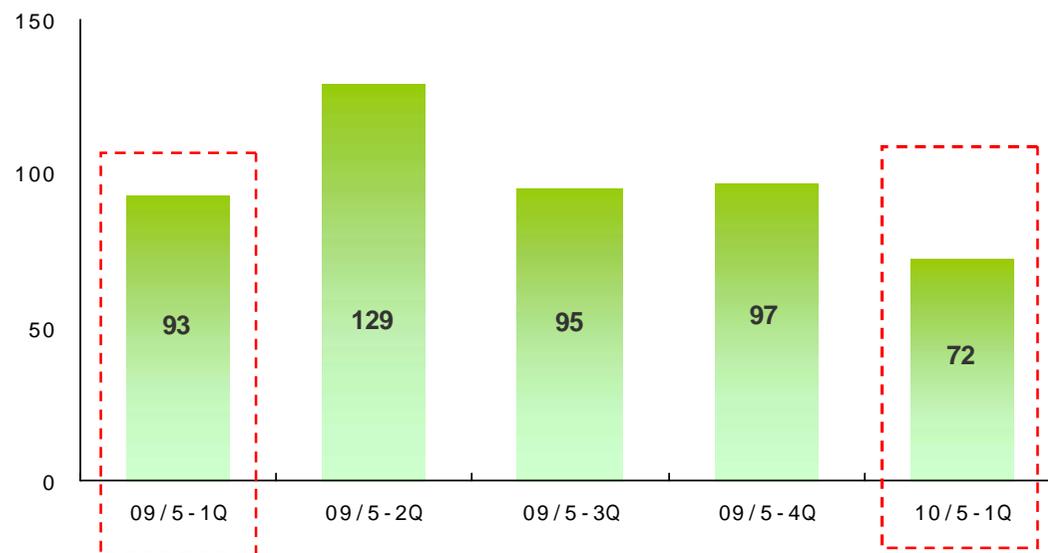


Point

「多言語マーケティング」体制の強化

2008年6月よりグループ会社化
英語・中国語・日本語等において、ネイティブ
コピーライターによるウェブ/紙媒体制作を
行なう
多くのグローバル企業に対してサービスを提供
欧米や中国等における文化の理解を背景に、
英語・中国語における制作においては、国内
トップレベルの実績
既存クリエイティブ事業に翻訳ネットワーク機
能を付加
多言語領域における事業間シナジーがさらに
期待できる体制になる

売上高推移



(金額単位:百万円)

Point

大手クライアントの広告宣伝費抑制の影響を受け、キャンペーンの規模が縮小したため売上が減少いたしました。

【3】 2010年5月期 業績予想と事業の取り組み

()は前期比

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2010年5月期 第2四半期連結 業績予想	1,365 (41.5)	59 (-)	27 (-)	26 (-)
2010年5月期 通期連結 業績予想	3,042 (19.8)	108 (37.4)	140 (68.9)	109 (-)

(単位:百万円 / %)

今後においてはグローバル・マーケティング・カンパニーとして、多言語によるマーケティング戦略全般を提供すべく以下のような点に取り組んでまいります。

今後の取り組み

1. 事業ポートフォリオ転換
2. トップライン向上
3. ローコストオペレーションの推進

SEM事業依存からの転換を推進すべく、**グループ会社との連携を強化**



株式会社アート・スタジオ・サンライフからアウングローバルマーケティング株式会社へ

- ・ 多言語SEM機能とクリエイティブ機能の連携強化
- ・ 移転により当社と事務所統合。グループ間の連携を深め、相乗効果を高める
- ・ 社名を当社ブランドと統一
- ・ グループマネジメント体制の整備および強化

多言語マーケティング体制の確立

訪日・在日外国人向け総合情報サイト「English First」オープン

Webサイト概要

訪日旅行者や、日本在留の外国人に向けた宿泊施設、飲食店、ツアー、観光地、不動産などの情報を幅広く提供する総合情報サイト「English First」をオープンいたしました。外国人向け情報サイトとしての認知度の向上と、コンテンツの拡充を図ってまいります。

Webサイト概要

名称	: English First (http://www.english-first.net/)
	版: 2009年1月オープン、正式リリース: 2009年9月
言語2言語	: 英語・日本語
総ページ	: 約8,000ページ
想定PV	: 約50万PV/月 (2009年10月末)
想定UU	: 約18万人/月 (2009年10月末)
想定ユーザー	: 訪日・在日外国人

カテゴリー一覧

Hotels	: ホテル、旅館など
Food	: レストラン、バーなど
Tour	: 外国人向け国内ツアーなど
Attractions	: 観光地、ショッピングセンターなど
Living	: 不動産、仕事、保険など
Support	: 大使館、病院、郵便局など
Useful Info	: 日本国概要、交通機関、トラブル対策



<http://www.english-first.net/>

新規事業及び新商品開発の強化 (用途開発の強化)

- 2009年6月 HRソリューションズ株式会社と業務・販売提携
- ・ 販売促進用途から人材開発用途としてのサービス展開
 - ・ 相互のサービスを最大限に活用することにより、販売促進が可能

新サービスの開始によるトップラインの向上

- 2009年7月 SEO下取りサービス「SEO リサイクル」開始
- 2009年8月 訪日・在日外国人向け情報サイト「English First」正式オープン

既存および新規事業分野でのセミナー強化



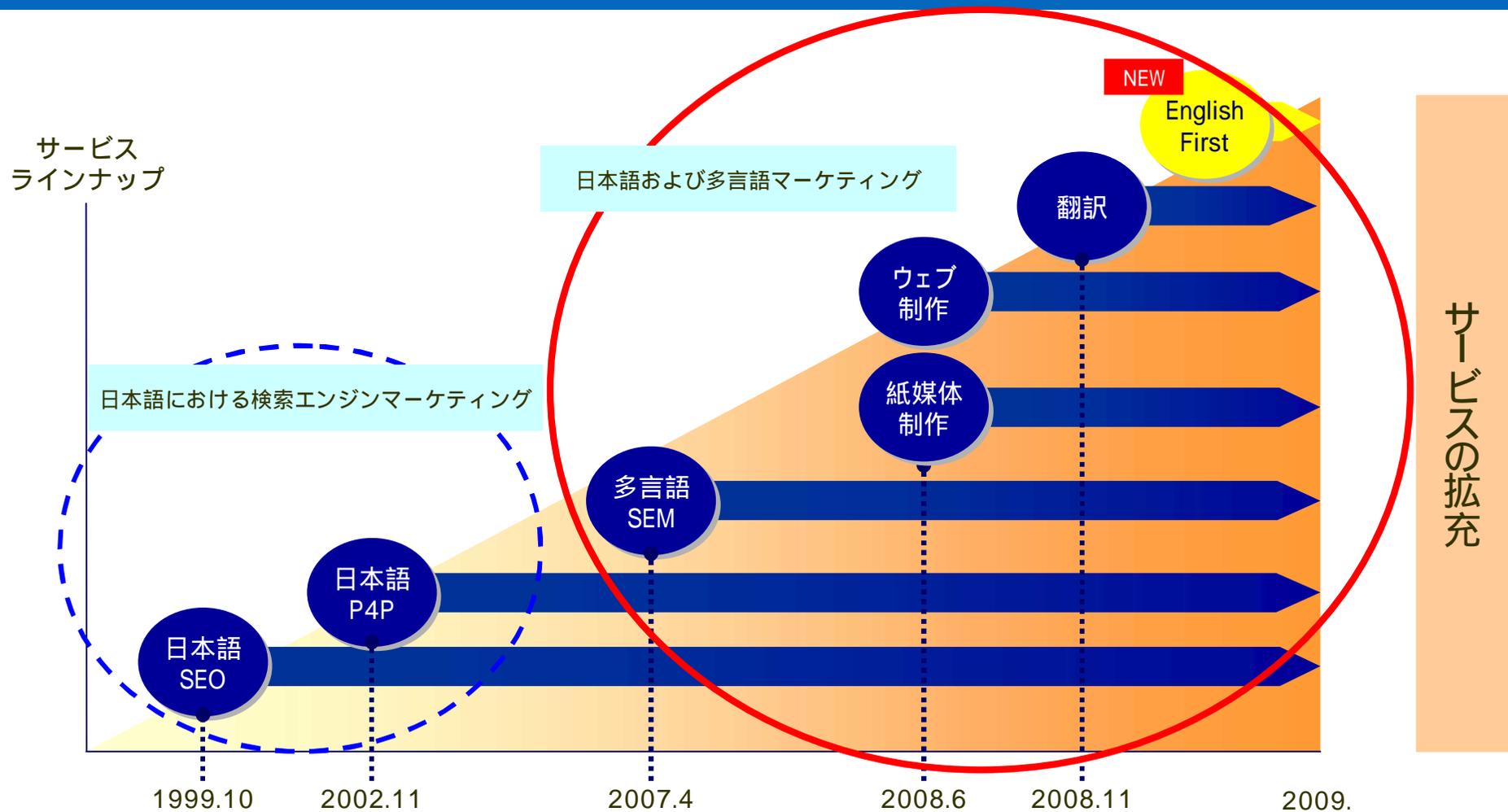
セミナー実績

- ・ 2009年6月 無料セミナー「モバイルSEM 最前線」
- ・ 2009年7月 モバイルアクセス解析&SEMセミナー
- ・ 2009年7月 人材募集プロセスの可視化とインターネット活用セミナー (HRソリューションズ株式会社共催)
- ・ 2009年7月 事例で読み解く!中国ビジネス実践セミナー

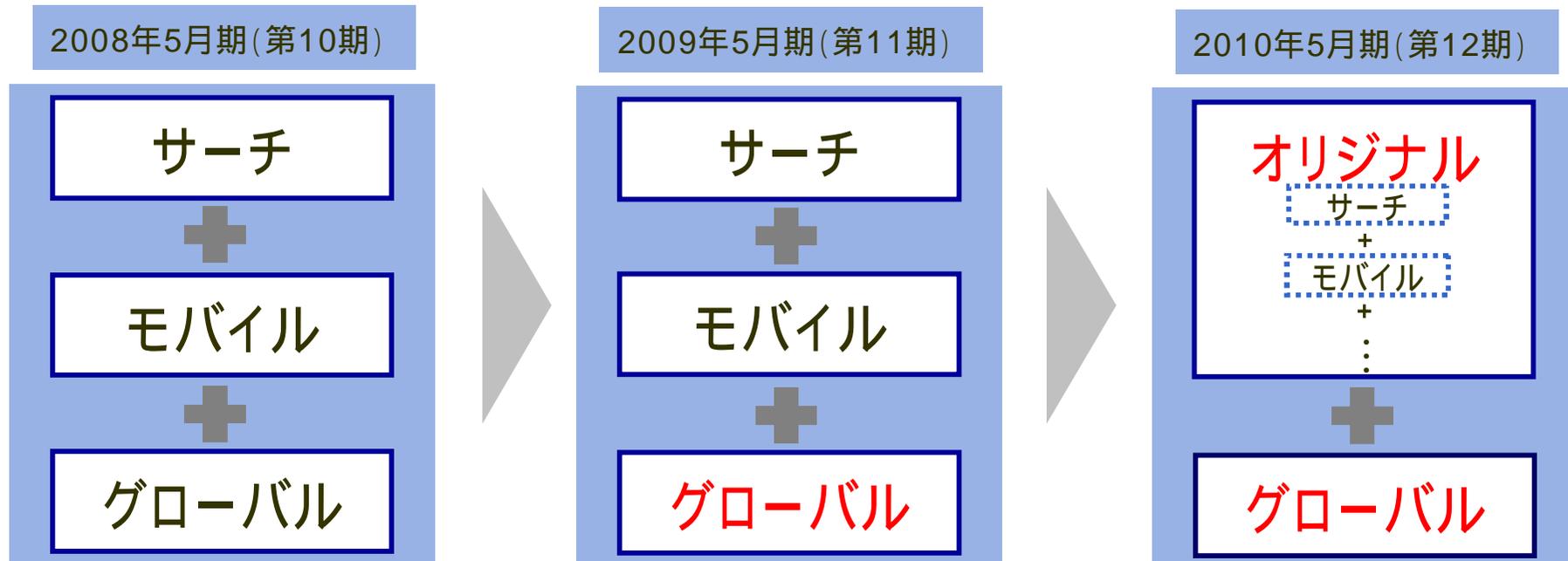
ローコストオペレーションの推進



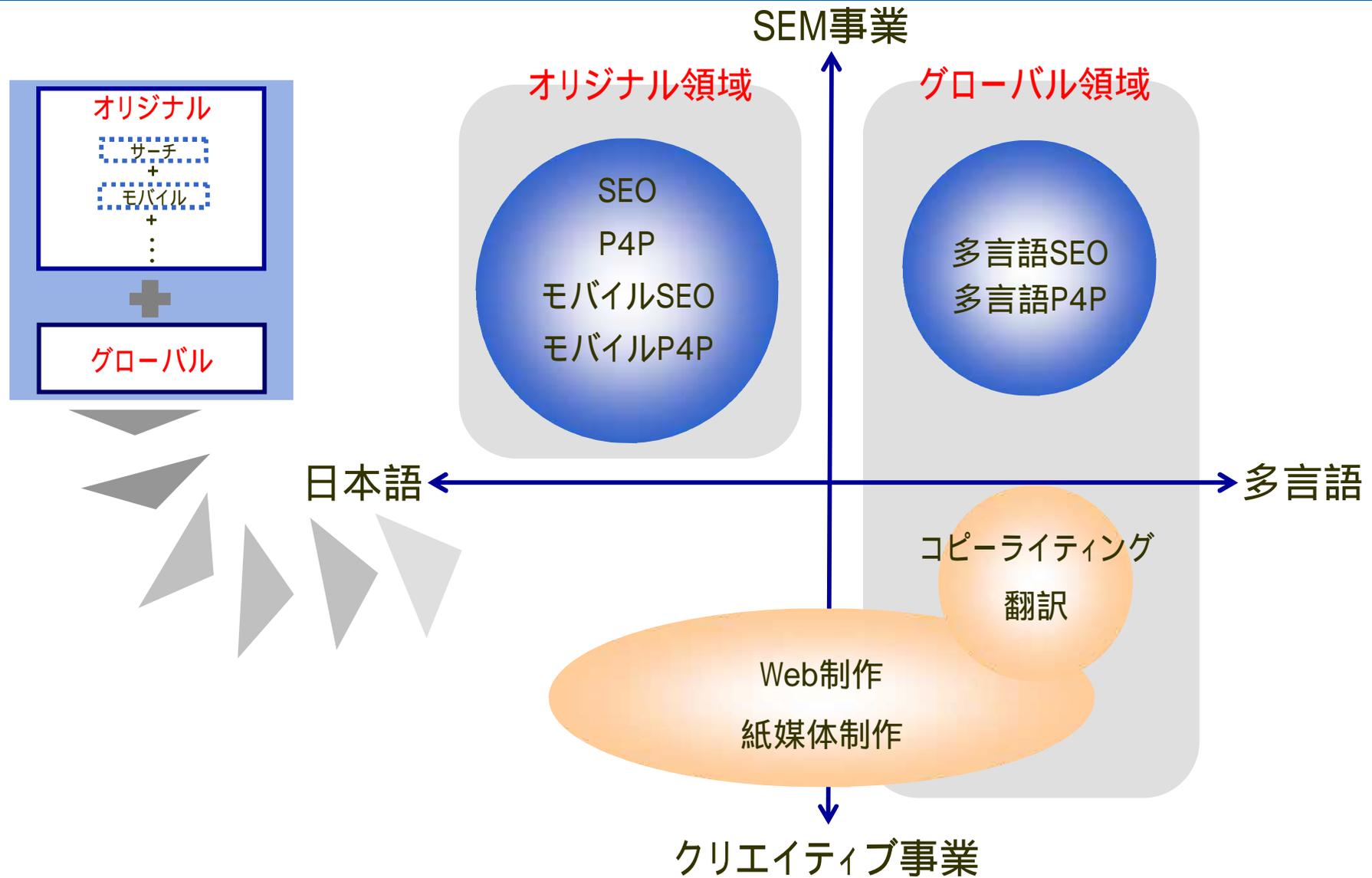
顧客単価下落傾向に対応する**収益体制の強化**
グループ子会社**AOL、ATLの機能を拡充**しグループの生産拠点として拡大へ
AOL、ATLの活用により、**ローコストオペレーション**をさらに推進
アウングローバルマーケティングとAOL,ATLの連携も進展



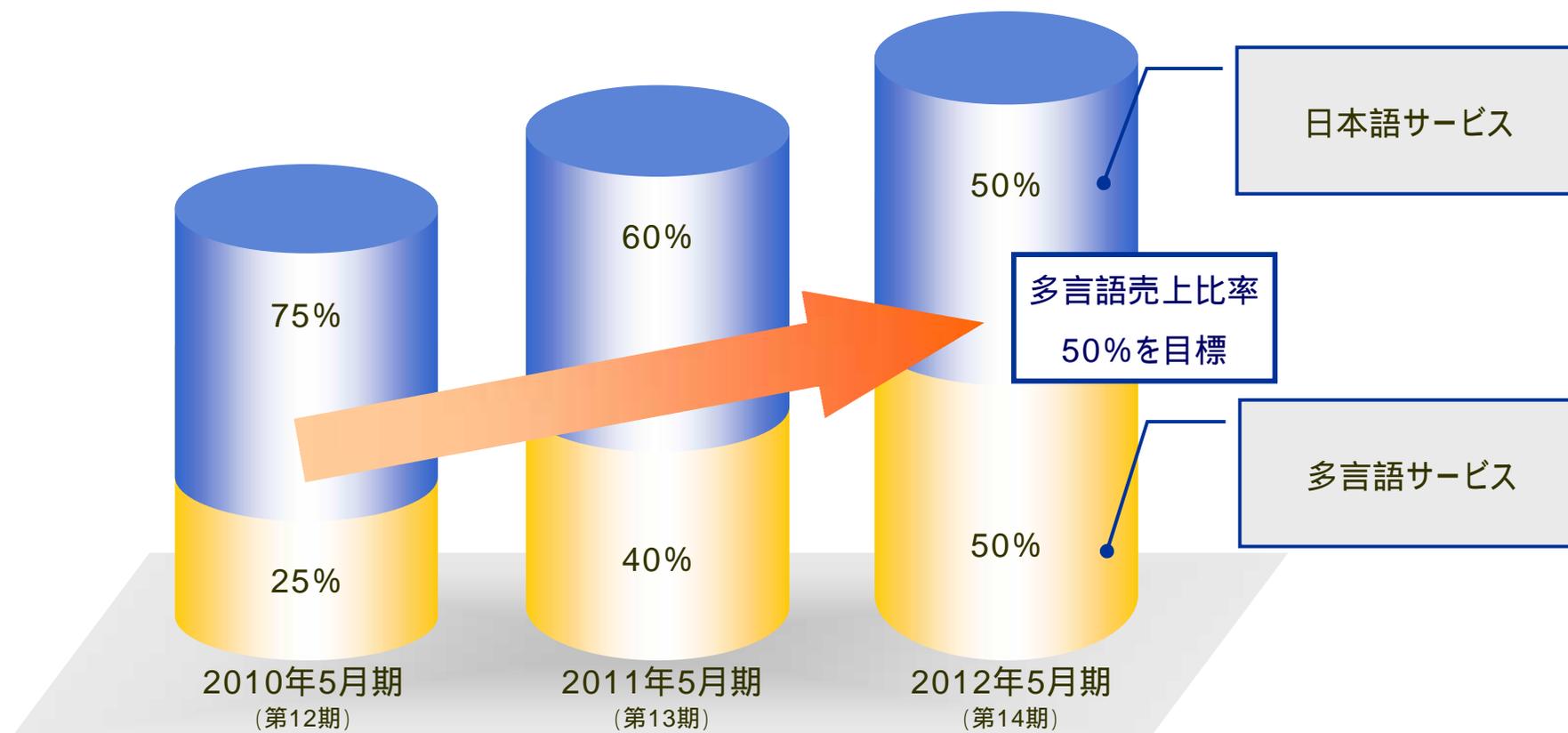
SEM事業に加え、アウングローバルマーケティング株式会社との連携により、Webや紙媒体の制作、そして翻訳といった多言語領域でのサービスが可能となりました。さらに、2009年9月に訪日・在日外国人向け総合情報サイトをオープンし、サービス拡充を図ることで多言語マーケティング体制を拡大してまいりました。



- ・ 第10期(2008年5月期)からの「構造改革」を継続推進
- ・ 主軸であるSEM事業をオリジナルとし、サービスの強化
- ・ SEMのリーディングカンパニーとして培ってきたノウハウを活かし
独創的マーケティング手法を開発
- ・ 多言語サービスを拡充し、「グローバル」領域の事業強化



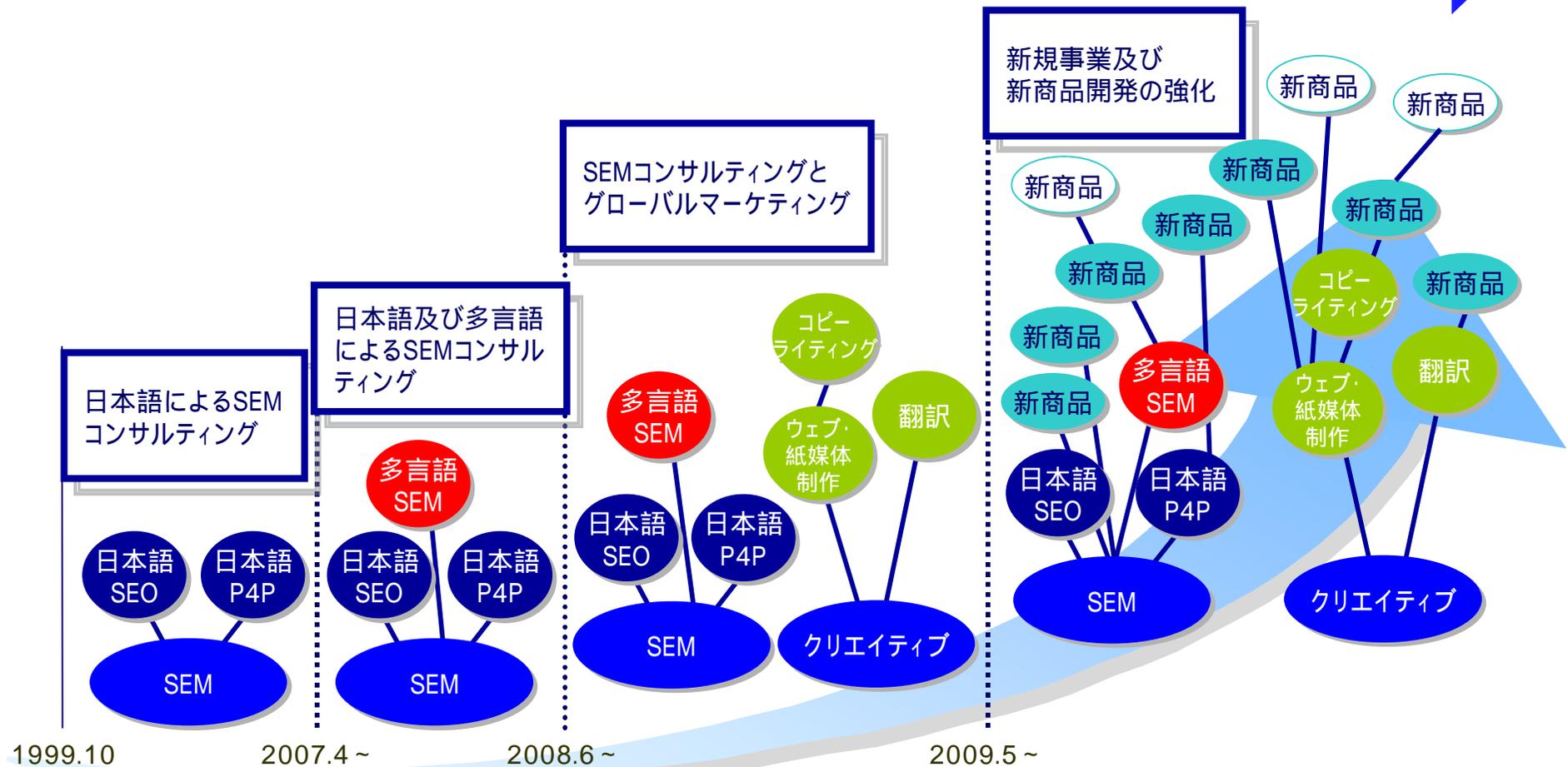
お客様の課題に対して、独創的な考え方で解決を提案。ワンストップソリューションを目指す。

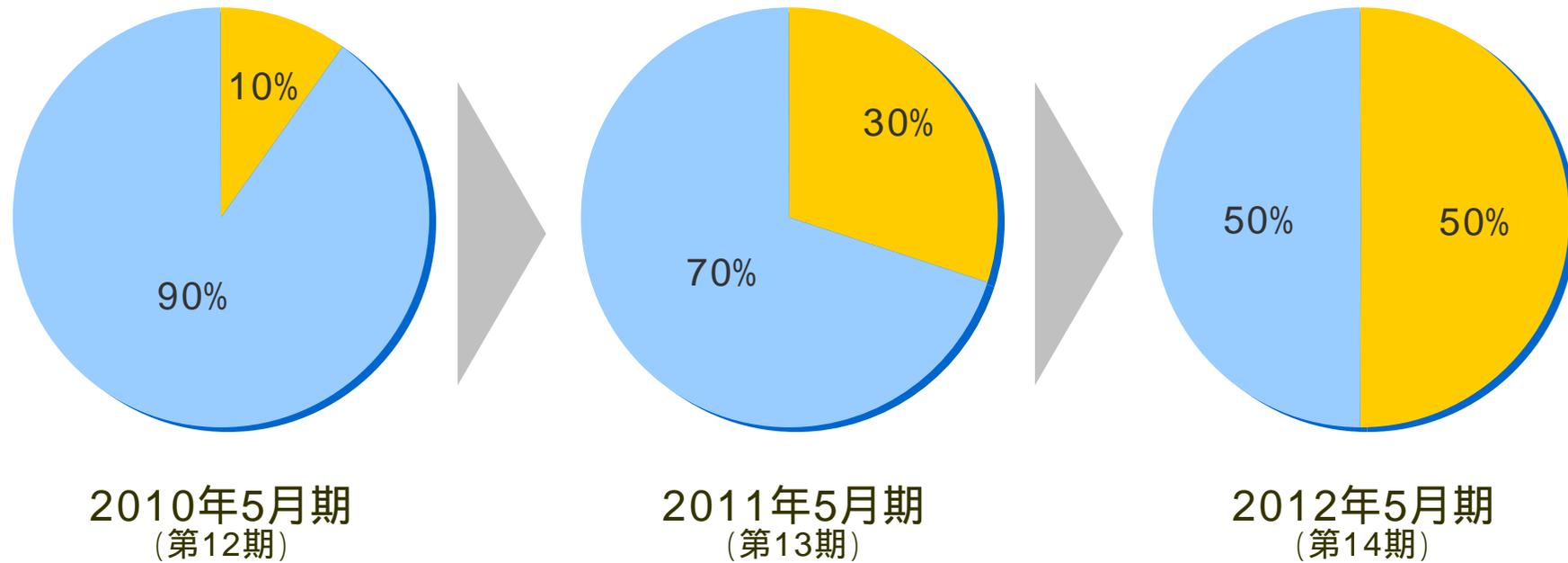


売上高の50%を英語・中国語などの多言語サービスで獲得できるように、事業を展開してまいります。

グローバルマーケティング

SEM



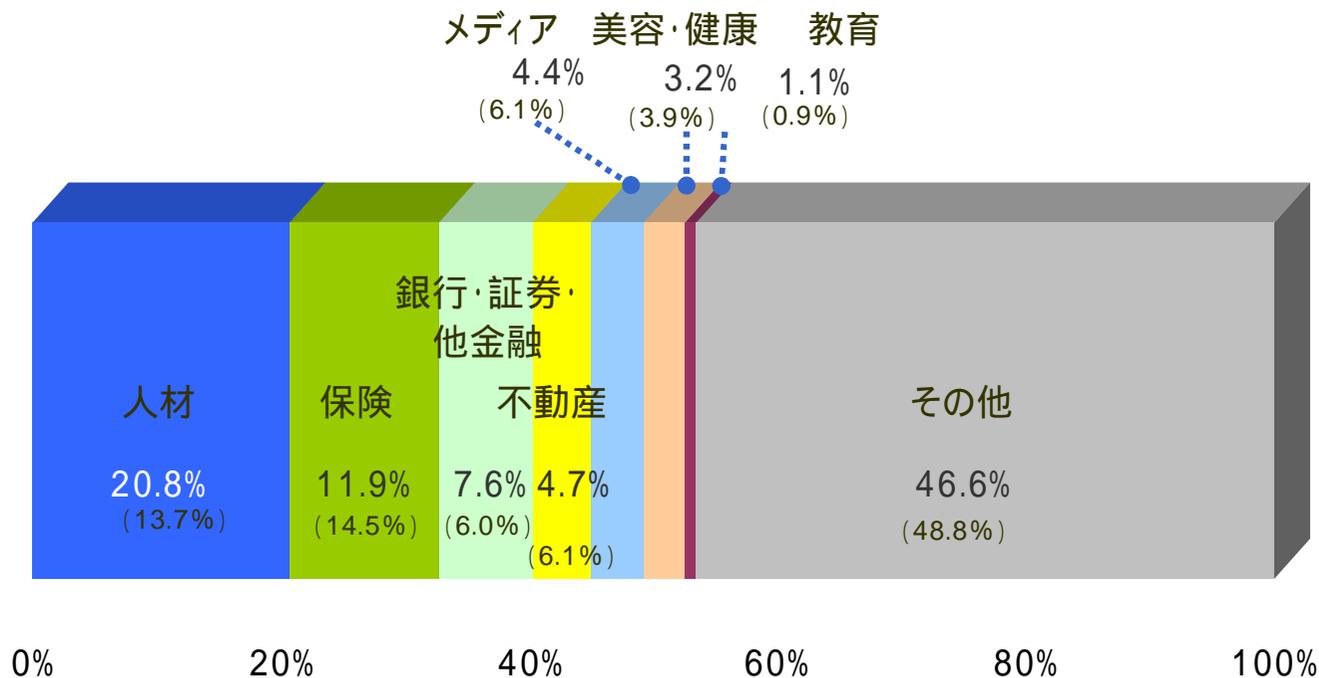


- ・ 既存事業への依存体質を脱却
- ・ 内部育成およびM&Aにより新事業および新商品の追加
- ・ 新商品には継続基準を定め、業績への貢献度を判断

卷末資料

設立	1998(平成10)年6月8日	
資本金	339,576千円(2009年8月末現在)	
経営陣	代表取締役 兼 代表執行役員	信太 明
	取締役 兼 常務執行役員	橘川 徹也
	取締役 兼 常務執行役員	棚橋 繁行
	取締役 兼 常務執行役員	坂田 崇典
	社外取締役	藤原 徹一
	執行役員	中田 茂樹
	執行役員	宮崎 正
	執行役員	長島 徹弥
	常勤監査役	工藤 典久
	監査役	中谷 正史
監査役	加藤 征一	
監査役	松村 卓朗	
本社	東京都文京区後楽1-1-7 グラスシティ後楽	
グループ会社	アウングローバルマーケティング株式会社	
	アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社、AUN Thai Laboratories Co.,Ltd.	
社員数	161名[正社員のみ150名・グループ会社含む](2009年8月末現在)	
発行済株式総数	72,428株(2009年5月末現在)	
事業内容	マーケティング分野に関するコンサルティング業	
上場市場	東京証券取引所マザーズ 証券コード:2459 (2005年11月9日 上場)	

2009年6月～2009年8月 顧客業種属性(連結)

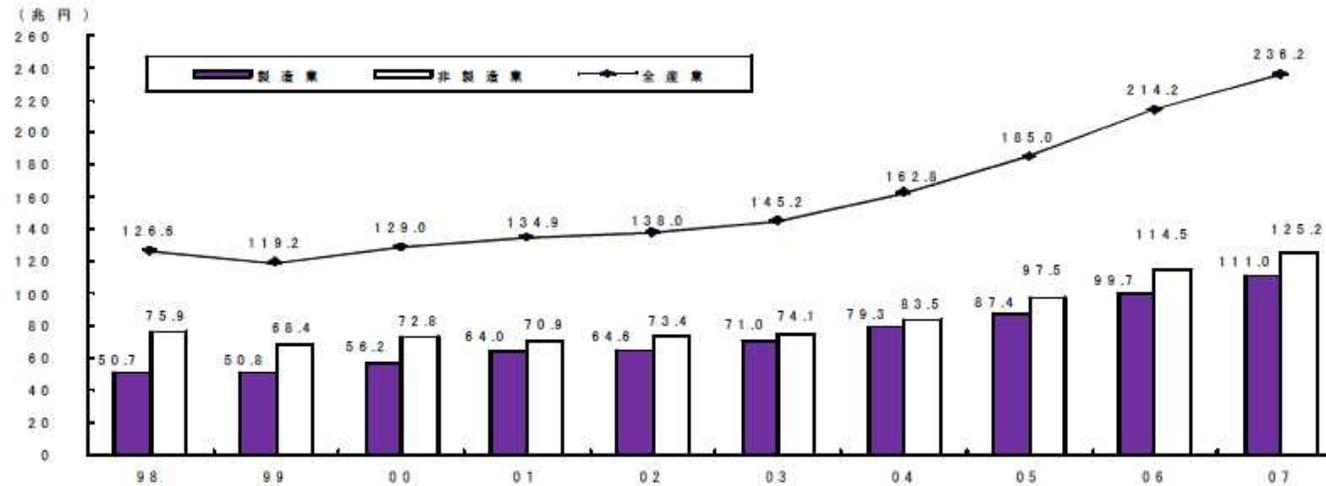


顧客業種動向は「人材」が増加いたしました。

パーセンテージは、09年6月～09年8月における全サービスの売上高をベースとして算出しています。

()内のパーセンテージは2009/4Q(09年3月～09年5月)です。

現地法人の売上高の推移



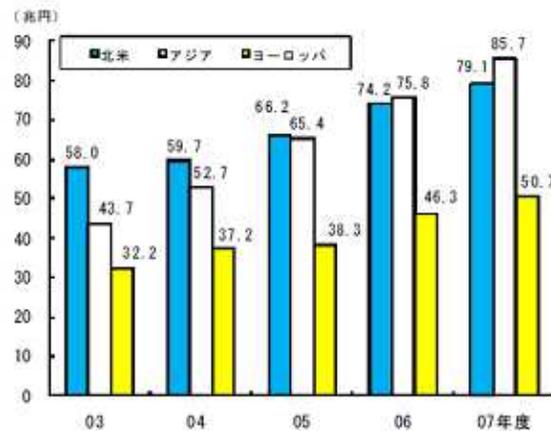
注1. 海外生産比率の算出方法

国内全法人ベース = 現地法人(製造業)売上高 / (現地法人(製造業)売上高 + 国内法人(製造業)売上高) × 100

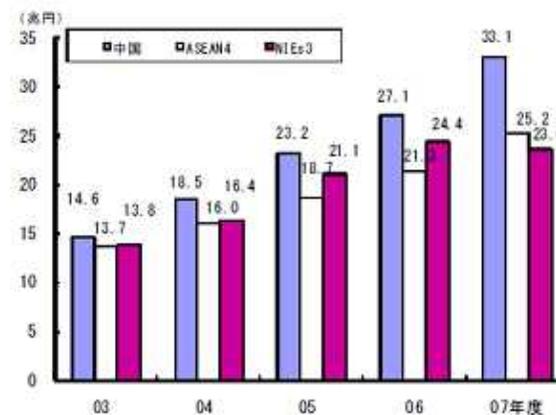
海外進出企業ベース = 現地法人(製造業)売上高 / (現地法人(製造業)売上高 + 本社企業(製造業)売上高) × 100

注2. 2007年度は見込額として調査。また、国内全法人ベースの見込みは経済産業省において試算

現地法人売上高推移(地域別)



現地法人売上高推移(アジア)



海外売上高は上昇トレンドにある

世界的景気後退により成長は一時的に鈍化するものの、
今後も海外売上高は増加すると推測

出典: 経済産業省経済産業政策局 調査統計部企業統計室 調べ(2009年5月)
第38回海外事業活動基本調査結果概要 - 平成19(2007)年度実績 -